

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい に ほん

■ 第26回 ■

2007年問題 団塊世代の退職始まる

ねんもん だい だん かい せ だい たいしよく はじ

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情の紹介をするとともに、日本語を教える先生方が新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回は団塊世代の定年問題に関する記事を取り上げ、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を提示しました。

「読む前に」の部分は、記事に関する背景情報を提供することで、学習者がいきなり記事を読むのではなく、読む準備ができるようにすることを目的にしています。「読む前に」の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり話し合ったりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。

「読もう」の部分は、ざっと目を通して大意を把握したりキーワードを取り出したりする大まかな読み方や、表現や構文を押さえて読む精密な読み方が含まれます。この部分の質問は、読み進めていく過程で必要なストラテジーの意識化を狙っています。

「読んだ後で」の質問は、学習者が読んだ記事の内容を整理し、自分の頭の中に作り上げたイメージを表現したり記事への反応を他の学習者と交換したりできるようにすることを目的にしています。

読む前に

よ まえ

2007年も早半ばにさしかかろうとしています。みなさんは2007年問題という言葉聞いたことがありますか。これは、戦後の日本で1947年から1949年までの3年間に生まれたベビーブーム世代、いわゆる団塊の世代の人たちが今年から定年を迎え始めることに伴い起こるであろうさまざまな問題のことです。

では、この世代の大量定年退職によって具体的にどのような問題が予測されるのでしょうか。例えば、この世代の人たちが一斉に退職することで、それまでに蓄積された技能がうまく継承されず企業の活動にも支障をきたすのではないかと、年金や保険医療費等社会福祉制度を現状の形で維持するのは難しくなるのではないかと、言われています。労働力不足も予想され、65歳まで定年を延長した大手スーパーマーケットもあります。また、定年後再雇用する企業もあります。

ただ、悪い面ばかりではなくプラスの面も指摘され

ています。例えば、この世代の人たちが受け取る退職金は全体でかなりの規模のものになり、生活面での出費ばかりでなく旅行や趣味などへの出費も大きくなり日本経済の活性化にもつながるのではないかとされています。地域の活性化をねらって農山村への移住を積極的に呼びかける地方自治体もあります。

この2007年問題について今後どのような予測が可能でどのような対策が必要なのか、今回は2007年初頭の社説記事を読んでみましょう。

質問1: みなさんは何歳まで仕事を続けたいですか。定年で仕事をやめた後、何がしたいですか。隣の人と話し合ってみましょう。

質問2: みなさんの国で人口が多いのはどの世代ですか。その世代は社会にどのような影響を与えていますか、あるいは、今後どのような影響を与えると考えられますか。みんなで話し合ってみましょう。

読もう
よ

質問3： 記事の人口ピラミッドのグラフからどんなことがわかりますか。わかることを三つ挙げてください。次に、本文中で18年後のグラフの形を予測している部分を書き出しましょう。
しつもん きじ じんこう みつ あ つぎ ほんぶん
 ちゆう ねん ご かたち よ ぞく ぶぶん か だ

質問4： この記事のキーワードは何でしょうか。全体を読んで七つ選ぶとすれば、どの語句を選びますか。
しつもん きじ なん ぜんたい よ なな えら ごく えら

質問5： 小見出しによる区分ではなく、記事全体の意味のまとまりを考えて記事を三つの部分に分けるとすれば、どこで分けるのがいいですか。第2部と第3部の始めの語を書いてください。
しつもん こみだし くぶん きじ ぜんたい いみ かんが きじ みつ ぶぶん わ
 わ たいぶ たいぶ はじ ご か

読売新聞（朝刊） 2007年1月7日 「社説 還暦の団塊世代に期待する 社会保障の転換点」『日本語教育通信』58号9ページに掲載している記事は、著作権の関係でホームページへ掲載できません。

質問6: 「還暦の団塊世代に期待する」と見出しにありますが、何を期待するのですか。

しつもん かんれき だんかい せだい きたい みだ なに きたい

下線部に必要な表現を補って、筆者が期待する二つのことを示しましょう。

か せん ぶ ひつよう ひょうげん おきな ひっしゃ きたい ふた しめ

(1) _____ 先導役を務めること
せんどうやく つと

(2) _____ 担い手となること
にな て

質問7: この社説の内容を130字以内に要約してみましょう。

しつもん しゃせつ ないよう じ い ない ようやく

読んだ後で

よ あと

質問8: 記事で指摘された問題点について、みなさんなら、どのように解決すればいいと思いますか。話し合

しましう。その後で、自分の意見を書きましょう。

あ と じ ぶん い げん か

<解答例>

かいとうれい

質問1・質問2: (省略)

しつもん しつもん しょうりやく

質問3: <わかること>

しつもん

(1) 団塊世代の人口が突出していること

だんかい せだい じんこう とっしゅつ

(2) 30代半ば世代がその次に人数が多いこと

だいなか せだい つぎ じんずう おお

(3) それ以降の世代はずっと人口が減りつづけていること

いこう せだい じんこう へ

(因みに団塊の世代の人口は、約700万人とも750万人とも言われています。その次に多い30代半ばの世代は、団塊世代の子供たちで、第2次ベビーブーム世代(団塊ジュニア)とも言われています。)

<18年後の予測部分> 「根元の細いロウソクのような形になっているだろう。」

ねんご よそくぶぶん ねもと ほそ かたち

質問4: 2007年問題 団塊世代 退職(年齢) 不安 期待 社会保障制度(の転換点) 財源(あるい

しつもん ねんもんだい だんかい せだい たいしよく ねんれい ふあん きたい しゃかい ほしょうせいど てんかんてん ざいげん

は、消費税)、など

しょうひぜい

質問5: 第2部始めの語「人生90年時代」、第3部始めの語「問題」

しつもん だいふほじ ご じんせい ねんじだい だいふほじ ご もんだい

質問6: (1) 意欲と体力のある人が何歳までも働ける社会に変えていく先導役を務めること

しつもん いよく たいりよく ひと なんさい ほたら しゃかい か せんどうやく つと

(2) 子育て支援や地域再生のために新しい地域力を創造し、その担い手となること

しつもん こぞだ しえん ちいきさいせい あたら ちいきりよく そうぞう にな て

質問7: 2007年は団塊世代の大量退職が始まる年であるが、60歳になってもまだ健康で働きつづけたい人

しつもん ねん だんかい せだい たいりょうたいしよく ほじ とし さい けんこう ほとら ひと

も多く、この世代の活力を生かすことで新しい社会を創造することも期待できる。同時に、社会

保障の財源をどう確保するか今から取り組まなければ、その制度は維持できない。(123字)

質問8: (省略)

しつもん しょうりやく

参考ウェブサイト

さんこう

・DISCO Human Resource Plaza 「2007年問題」 http://www.hr-plaza.com/hre/2005_jan/marketseminar/001.html

・「総務省統計局 統計データ・ポータルサイト」 <http://portal.stat.go.jp/Pubstat/topCntryStat.html>

・「国立社会保障・人口問題研究所」 <http://www.ipss.go.jp/>

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。このコーナーの担当: 浜田盛男、境田徹 (関西国際センター日本語教育専門員)

へんしゅうぶ よ たんどう はまだもりお さかいだ とおる かんさいこくさい にほんごきょういくせんもんいん